

経営改善計画

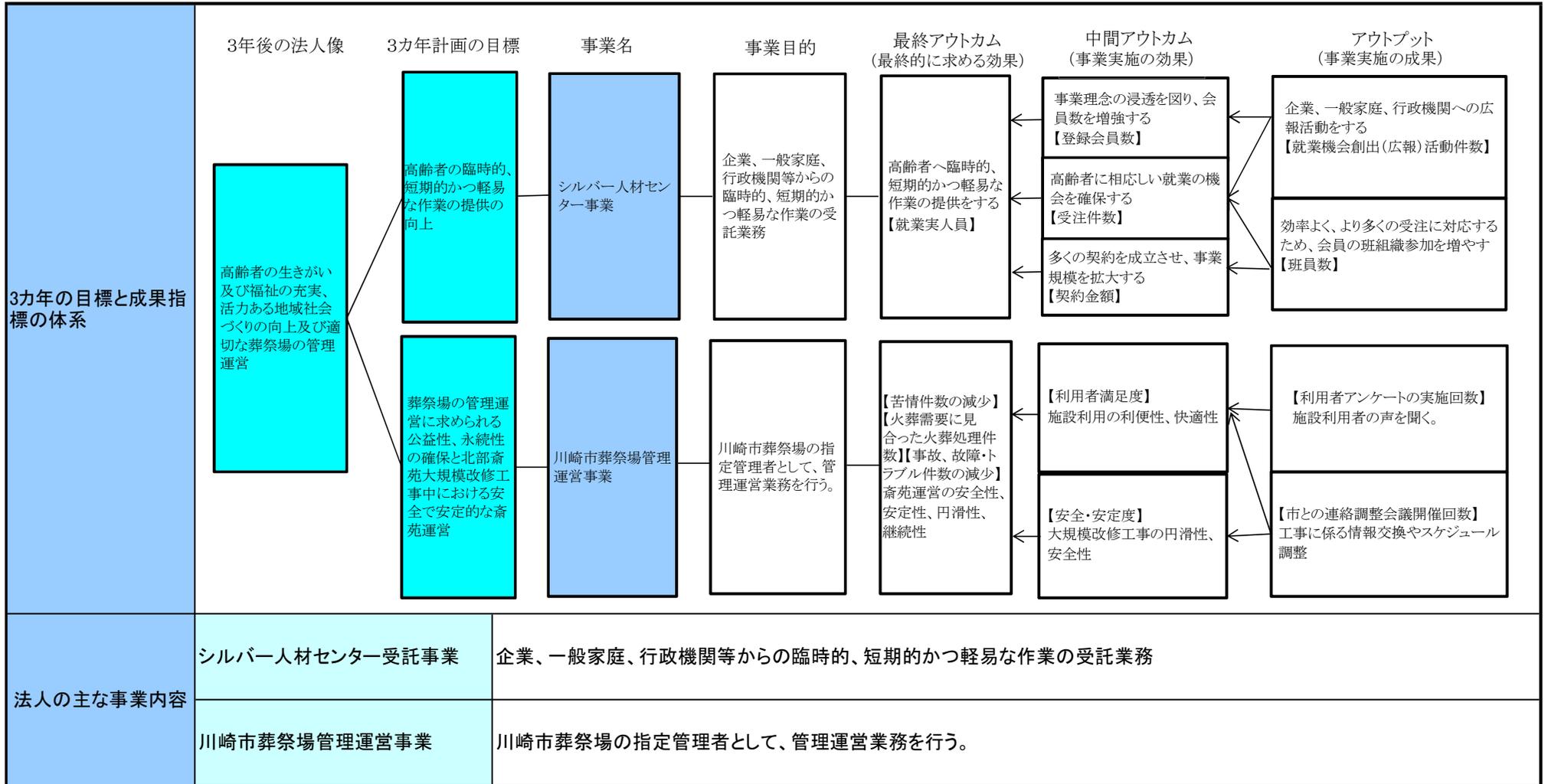
法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

【1:経営の基本的考え方】

川崎市が期待する役割と経営改革	<p>①期待する役割 高齢化の継続的な進展に伴い超高齢化社会を迎える中、高齢者がこれまで培ってきた経験、知識を生かして身近な地域の中でいきいきと活動することができるように、生きがいづくりの支援や就労機会の確保など社会活動を促進することが求められています。 こうした状況の中、シルバー人材センターによる働く意欲のある高齢者の就業機会の確保、就業を通じた生きがい・健康づくりの促進、社会参加の場の提供の役割は重要性が増している状況にあります。 また、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな事業展開と公益財団法人の特性を生かした安定的な市民サービスの向上が見込まれる。</p> <p>②経営改革項目 会員の増強や受注の拡大等を図ることにより、財政基盤を強化し、より自立的な経営となることを期待する。</p>
法人のミッション	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く。)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く)を希望する高齢者のために、これらの就業の機会を確保し、及び組織的に提供すること。 ● 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものに限る。)を希望する高齢者のために、職業紹介事業又は一般労働者派遣事業を行うこと。 ● 高齢者に対し就業等に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと。 ● 高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと。 ● 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行うこと。 ● 川崎市が設置する葬祭場の管理運営
現状及び課題の分析	<p>シルバー人材センターは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき国・県・市の協力を得て運営されている公益性・公共性のある公益法人で「自主・自立・共同・共助」の理念のもとに、市内在住の60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者が会員として登録し、地域に密着した臨時的かつ短期的またはその他の軽易な作業を家庭、企業、公共団体から引き受け、これを会員に提供することにより、より多くの高齢者が働くことを通じて健康的に生きがいを持って地域に貢献することを目的にしている。また、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな事業展開と公益財団法人の特性を生かした安定的な市民サービスの向上を図る。</p> <p>今後、超高齢社会、人口減少社会を迎える中、一人でも多くの高齢者が福祉の受け手ではなく、社会の担い手として、長年培ってきた知識と経験を生かし、社会活動に参加していくことができることが、大きな課題になっている。火葬需要の増加に対する的確な葬祭場の管理運営の確立</p>
経営ビジョン	<p>高齢者の生きがい及び福祉の充実、活力ある地域社会づくりの向上、適切な葬祭場の管理運営の確立</p>

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------



経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

3カ年の経営課題 (必ず財務の視点と業務の効率化の視点を含める)	シルバー人材センター受託事業	センターが企業、一般家庭、行政機関等から臨時的、短期的かつ軽易な作業の委託業務を受けて、登録している高齢者に就業の場を提供するため会員数の増加、就業実人員の増加を図る。
	川崎市葬祭場管理運営事業	北部斎苑の運営に関して、大規模改修実施時期の運営期間における安全性の確保、及び業務の安定性の確保。
	財務改善	受託事業収入を増やすため、就業開拓や会員拡充等あらゆる施策を展開する。
	業務・組織の改革	事業推進体制の強化に伴い事務局組織体制の整備を行う。また、最適なシステムを構築し事務の効率化を図る。

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

	項目	指標の種類	指標	指標の選定理由	目標値(単位)	目標値の設定根拠
指標と目標値の設定根拠	シルバー人材センター受託事業	アウトプット	就業機会創出(広報)活動件数	効果的なセンターの広報方法を選定し、仕事の依頼と登録会員の増加を図るための重要な指標となる。	9,800(件)	チラシ配りやポスティング等の広報活動だけでなく、会員から営業経験者を募り企業訪問を行い1件の広報活動の質をあげることを図るため、毎年5%程の伸びを目標値とした。
		アウトプット	班員数	事務職員の増加が見込めず、事業実績が増加する中、会員組織を活用し事務処理の効率化を図るための重要な指標となる。	260(人)	班組織を構築するためには、技量講習会や研修会、基準(要綱、要領)の制定などの事前の準備が必要のため毎年10人増を目標値とした。
		中間アウトカム	登録会員数	粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るための重要な指標となる。	8,500(人)	関係機関の連携や各種広報媒体の活用を通じて、毎年500人の増加を図る。
		中間アウトカム	受注件数	高齢者にふさわしい就業先の確保のための重要な指標となる。	9,700(件)	複数の会員が継続して就業できる受注、1件あたりの契約金額が高い受注(公共系、企業系)を増やし、就業実人員数や契約金額が伸びているため、飛躍的な受注件数の増加にはこだわらず、数年間の平均伸び率5%を維持していくこととした。
		中間アウトカム	契約金額	事業規模の拡大による財源確保と信頼性のための重要な指標となる。	1,326,000(千円)	大口の顧客である公共系、企業系の受注を獲得し、過去の実績増加率を参考にして毎年3%程の増加を目標値とした。
		最終アウトカム	就業実人員	多くの会員に仕事を提供し、就業を通じて高齢者の生きがいつくりのための重要な指標となる。	3,000(人)	大口の顧客である公共系、企業系の受注を獲得し、過去の実績増加率を参考にして毎年5%程の増加を目標値とした。
	川崎市葬祭場管理運営事業	アウトプット	利用者アンケートの実施回数	施設利用者の声を聞き、より一層の利便性、快適性の向上を図る。	50(回)	1週間につき1回アンケートを回収する。年間約50週間、1月1日と毎友引が休苑であるため、年間の開苑日数は約300日になることから、1週間は約6日間である。
		アウトプット	市との連絡調整会議開催数	大規模改修を踏まえ、工期や情報管理を徹底し、工事中における安全で安定的な斎苑運営を図る。	12(回)	毎月1回会議を開催し、工事の状況、スケジュール、施設運営への影響等の情報を関係者間で共有し、工事中における斎苑運営に備える。
		中間アウトカム	利用者満足度	満足度の高さをもって、施設の利便性、快適性の効果を測る。	70(%)	葬家、来苑者、業者の満足度について現行89%であることを基準とし、北部斎苑大規模改修工事の状況を勘案して、約20%程度の減を見込み、約70%の満足度を確保する。
		中間アウトカム	安全・安定度	安全・安定度をもって、機械設備の安全性、安定性の効果を測る。	5(%)	保守点検を実施した機会設備における故障・トラブル率を5%以下とし、斎苑運営の安全性、安定性を図る。
		最終アウトカム	苦情件数の減少	斎苑運営の安定性、継続性	15(件)	月1件を目安とし、北部斎苑大規模改修工事の状況を勘案して、約20%程度の増を見込み、年間約15件以内とする。
		最終アウトカム	事故・故障・トラブルの減少	斎苑運営の安全性、安定性、円滑性、継続性	12(件)	施設運営に大きな影響が考えられるため、故障・トラブルについて月1件以内とする。
	財務改善	/	契約高の向上	契約高の向上がセンターの重要な収入である事務費の向上を意味するため。	1,326,000(千円)	契約先として、福祉施設や保育園、個人宅の家事援助及び子育て支援の地域の社会福祉分野において、就業の機会が増え、受注拡大に努める。
			財務内容の健全化	短期借入金額が、契約高が向上するに従い増加するのを抑える。	65,000(千円)	平成25年度の短期借入金額65,000千円を、契約高の向上に伴う借入金額の上昇を抑え65,000千円を維持する。
			有効な資金活用	低リスク及びペイオフ対策を講じながら基本財産等の有効な資金運用に努める。	24(千円)	資金の管理運用について、国債・公債等により安全かつ有利な運用を行う
	業務・組織の改革	/	業務の能率向上	情報処理システムの改善・整備		
			組織体制の見直し	事務局組織体制の見直し・整備		

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

【2:行動計画】

計画期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 (3 カ 年)
------	--

(1)シルバー人材センター受託事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
就業機会創出(広報)活動件数(件)	就業機会創出(広報)活動は、着実に受注や会員登録に結び付いている。今後も受注開拓や会員数の増強を図るためには必須である。 平成25年度見込:8,000件	区民祭でのチラシ配りや企業、家庭等へのポスティング活動は継続していく。また、会員から営業経験者を募集(創出員)し、企業訪問活動を行っている。今後は創出員を増員するなどして企業訪問活動を増やしていく。	8,500件	9,100件	9,800件
班員数(人)	事務局職員の増員が見込めない一方で、事業実績が増加している。今後も会員組織を活用して事務処理の効率化を図るため、班員数の増加は必須である。 平成25年度見込:230人	会員の技量、技術の向上のための講習会等を開催し、会員の育成と確保に努める。	240人	250人	260人
登録会員数(人)	粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るためには登録会員数の増加が必要である。 平成25年度見込:7,000人	会員募集の広報活動として、市広報掲示板やミニコミ誌への記事の掲載等を充実させ、更に効果的な広報を検証し新規入会会員を獲得する。	7,500人	8,000人	8,500人
受注件数(件)	1件あたりの規模(就業人数や契約金額)が大きい公共系、企業系受注が増加している傾向にある。 平成25年度見込:8,400件	より多くの会員を就業させることの可能な公共系、企業系の大口の受注を獲得し、就業実人員(最終アウトカム)の増加につなげていく。	8,900件	9,300件	9,700件
契約金額(千円)	公共系、企業系の大口の顧客を獲得したことにより契約金額が飛躍的に伸びている。多くの登録会員を就業させるために大口契約の受注拡大を図り、財源確保に努めることが必須である。 平成25年度見込:1,210,000千円	就業機会創出活動、会員募集を効果的に行うことにより、受注件数と登録会員数を増加させる。	1,250,000千円	1,287,500千円	1,326,000千円
就業実人員(人)	今後もより多くの会員に仕事を提供し、高齢者の生きがいを高め、就業機会の確保を図ることが必須である。 平成22年度見込:2,200人	就業機会創出活動による受注拡大、会員募集活動による登録会員数の増加、会員組織の活用による事務処理の効率化を図り、就業実人員数の増加を図る体制を整える。	2,700人	2,850人	3,000人

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

(2)川崎市葬祭場管理運営事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
利用者アンケートの実施回数	施設利用者の声は、施設の利便性、快適性の向上に繋がり、火葬需要の増加や葬儀形態の変化に伴うニーズに的確に対応していく。	アンケート回収箱の設置だけでなく、直接配布による記入依頼を求める。	30回	40回	50回
市との連絡調整会議開催数	大規模改修を行いながら斎苑運営を行うにあたり、市との緊密に連携し、安全性、安定性を確保していく。	市とシルバー人材センターだけでなく、指定管理者の構成員である富士建設工業や、状況に応じて施工業者、葬祭業者等も交えて、万全な対応が図れるよう情報・意見交換、スケジュール管理等を行う。	12回	12回	12回
利用者満足度	現状の利用者満足度は89%の高水準であるが、大規模改修工事中における満足度の減少が考えられる。	アンケート結果の精査や市との緊密な連携により、課題の抽出と早期改善を図り、満足度の低下を最小限にとどめる。	60%	65%	70%
安全・安定度	機械設備の故障、トラブルにより使用できない状態が生じることがあるため、保守点検を行い、補修・修繕対応を行っている。	北部斎苑の火葬炉設備改修を踏まえ、北部斎苑の機械設備だけでなく、南部斎苑の機械設備にも負荷がかかることを想定し、計画的に保守点検を行い、早期の補修・修繕対応を図り、保守点検箇所からの故障、トラブル発生を減少させる。	10%	7.5%	5%
苦情件数の減少	大きな苦情はほとんどないが、大規模改修工事に伴う、苦情、要望の増加が考えられる。	斎苑運営上の課題について早期に改善し、施設の利便性、快適性の向上を図る。特に大規模改修の実施に伴い、市との緊密な連携のもと、施設利用満足度の低下を抑えたとともに苦情の減少も図り、施設運営の安定性、継続性を確保する。	50件	35件	15件
事故、故障・トラブルの減少	機械設備の故障、トラブルによる事故は起きていないが、特に、大規模改修に伴い、一部の機械設備に負荷が偏ることを踏まえ、効果的に保守点検を行うことが必要である。	計画的に保守点検を行い、早期の補修・修繕対応を図る。特に大規模改修に伴い、負荷が一部の機械設備に偏ることを踏まえた保守点検を行い、安全性、安定性を確保する。	12件	12件	12件

(4)財務の改善

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
契約高の向上	受託事業収入の増加 平成25年度見込：1,210,000千円	公共の新規受注開拓に重点を置き、役職員が関係各局にシルバー人材センターの活用について働きかける。また、民間企業等に対しては就業機会創出員を配置して、訪問活動や各種広報活動を行い、新規受注の開拓に努める。	1,250,000千円	1,287,500千円	1,326,000千円
財務内容の健全化	配分金支払の為の借入金 平成25年度見込：65,000千円	契約金増大に伴い配分金支払の為の借入金増大を抑え、財務の健全化に向け運営資金の積立を行う。	6,5000千円	6,5000千円	6,5000千円
有効な資金活用	基本財産等を安全で確実な運用に重点を置く 平成25年度見込：20千円	資金の管理運用について、国債・公債等により安全かつ有利な運用を行う	22千円	23千円	24千円

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管部署	健康福祉局高齢者在宅サービス課
-----	----------------------	------	-----------------

(5) 業務・組織の改革

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
業務の能率向上	情報処理システムの改善・整備	事業拡大及び増大する調査報告資料作成に必要な検索機能(会員検索等)、統計(月次統計)処理、新公益会計基準に則った会計処理など業務の効率化と正確な数値が素早く把握できるようにシステム開発会社と検討し、最適なシステムを構築する。	実施	改善・反映	改善・反映
組織体制の見直し	事務局組織体制の見直し・整備	事業拡大を目ざし、これに見合った機能的組織を検討し、体制を改善する。	実施	改善・反映	改善・反映
業務の能率向上	シルバー人材センターの目的を達成するための事業として会員に就業等の提供	葬祭場の運営に伴う軽易な業務について段階的に会員を活用する。	検討	検討・試行	導入

資金計画表

[平成26年度～平成28年度]

法人名: 公益財団法人 川崎市シルバー人材センター

(単位:千円)

項目			平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収支	収入	受託事業収入	1250000	1287500	1326000
		補助金収入(市)	58820	58000	57000
		補助金収入(国)	17400	17000	16000
		会員登録手数料収入	1000	1000	1000
		基本財産運用収入	47	47	47
		特定資産運用収入	71	71	71
		葬祭運営事業	157958	157496	159937
		寄付金収入	1	1	1
		雑収入	5	5	5
		経常収入合計	1485302	1521120	1560061
	支出	事業費	1436046	1471496	1510037
		管理費	38193	38500	38700
		減価償却費(△)	2391	2350	2350
		退職給与引当金繰入(△)	8672	8700	8900
シルバー事業運営資金取得支出(△)		0	0	0	
経常支出合計		1485302	1521046	1559987	
経常収支			0	74	74
投資収支	固定資産取得支出				
	固定資産売却収入				
	...				
投資等収支			0	0	0
財務収支	借入れによる収入	65000	65000	65000	
	借入金償還による支出	-65000	-65000	-65000	
	利息/配当金の支払				
	財務収支	0	0	0	
現金預金増加高			0	74	74
期首現金預金			25400	25400	25474
期末現金預金			25400	25474	25548